

長泉町・さわやかハイキング報告書

通算山行NO	個人山行(雪山ハイキング)	報告者	石和加代子
年 月 日	2008年5月6日(火・快晴)	2万5千円	小滝
山 名	頸城(くびき)・駒ヶ岳(1487m)		
体力度 = 3・普通 技術度 = 3・普通 藪漕度 = ない 道標 = ある トイレ = あり 展望度 = 360度の超展望			
連休に誰にも会わない奇跡の山			
コース とタイム	ホテル6:35 - 登山口7:00 - 駒ヶ岳頂上10:20 昼食~11:20 登山口13:35 山菜採り ホテル(入浴)14:40~15:40 豊科IC18:00 大月 谷村P 御殿場 下土狩21:00		
標 高 差	上り = 駒ヶ岳1487m ~ 登山口500m = 約1000m 下り = 同上		
参 加 者	CL・後藤隆徳、井上弘二郎、中村圭吾、永尾広、村上美恵子、石和加代子、=以上6名		

2日目、ホテル宿泊組の4人は6時に朝食をとり(値段のわりには充分良い)、朝風呂に入ったテント組2人とホテル駐車場で合流。天気は快晴になった。後藤講師は「登りがいいのある山、おもしろい山」と言うが、さて装備も昨日とは変えて、今日はどんな山登りとなるのか期待がふくらむ。

大神堂をぬけて車で3分の1ほど山を登ると、道路沿い左にトイレ付の小屋があり、その前の空き地に駐車。そこで早くも根曲がり竹を発見。スパッツをつけ、アイゼン・ピッケルを背負い、10mほど道路をもどると左側に根知谷コース登山口があり、林に入っていく。季節が移り、雪と落葉の布団の中から目覚め開花する、小さな山野草との出会いはうれしい。なんとも可憐で愛らしい花には春の喜びを感じる。登山道は急になっていく。鳥の鳴き声も聞こえてきた。水しぶきがかかる。近くの滝からのもので、勢いのある雪解け水の音も聞こえた。残雪がある。後藤講師から助言の声がかかる。雪が硬い所はキックステップで登る。すべりそうな所は起伏を見て、下からせめる。9時半、アイゼンを装着。がに股、がに股！ピッケルを突いて、足を1,2。トラバースでは、谷側の足から、山側はエッジをきかせる...

すごい岩壁がダダダーと広い範囲にそびえ立っている。エー！どうするの？と思うが横に回っていくと、割れ目をぬって、岩の天井、洞窟のような所を道が続いている。「労山バンド」といわれているルートで、糸魚川労働者山岳会のみなさんの努力によって切り開かれたようだ。2箇所の梯子と何箇所かのロープの助けをかりて、雪渓に慎重に足を置き、雪におおわれた美しいブナ林をぬけて、駒ヶ岳の頂上に3時間20分で無事到着。広い雪原でゆったり昼食をとる。ベンチや祠、頂上の印の柱などあるはずだが、雪に埋まっているようで見当たらない。糸魚川市から立ち上がっているため、じゃまするものもなく日本海岸が見える。眼の前には火打山、焼山、雨飾山、北アルプス...360度の大展望は素晴らしい。とても1500mに満たない山の頂上から見ているとは思えない景観だ。



「労山バンド」うわ~、怖い！

この景観と別れを惜しみながらも、ブナの林を下っていく。20分ほど下ったところでアイゼンはずす。

後藤さんが行きでは見せなかった場所から、登り下りしたルートをふりかえった。ながめるとびっくり！切り立った絶壁、岩壁の中央部にある右肩上がりの一本線がくっきりわかる。「労山バンド」だ。これを行きに見たら、尻込みをしてしまったらう。さらに下った水飲み場には、うちよりも大きな葉っぱをもつ水芭蕉が咲いていた。登りで見た時よりも、こころなしか花々が大きくなったような、開いたような気がした。

下りは約2時間と速かった。登山口を出ると早速、山菜採り。特にフキは一面にたくさんあり、時間制限で切り上げました。雪が残っていたので、春の花は例年よりも遅いようだと言った後藤講師評。それでもたくさんの花と出会うことができ、バリエーションに富んだいい山でした。それもゴールデンウィークだということに登山者には一人も出会わず、しかも帰りの道路は渋滞にあわずに約5時間で長泉に帰ってきました。山行と山野草の案内及び運転手を勤められた後藤講師に感謝しています。また参加者のみなさんで楽しい2日間にもりあげられたことに、充実感と仲間意識を感じました。お疲れさまでした。

観察した植物

水芭蕉(ミズバショウ) 董細辛(スミレサイシン)、笹百合(ササユリ)、延齡草(クロバナエンレイソウ)、雪椿(ユキツバキ)、山荷葉(サンカヨウ)、猩猩袴(ショウジョウバカマ)、峰桜(ミネザクラ)、(フキノトウ)、三角草(ミスミソウ)、匂辛夷(タムシバ)、辛夷(コブシ)、白花錨草(シロバナイカリソウ)、万作(マンサク)、大岩鏡(オオイワカガミ)、長嘴董(ナガハシスミレ)、越の小貝母(コシノコバイモ)、片栗(カタクリ)、稚児百合(チゴユリ)、越後雉筵(エチゴキジムシロ)

採れた山菜

根曲り竹(ネマガリダケ)、フキノトウ、踏(フキ)、タラの芽、山独活(ヤマウド)

